

令和元年度事業報告書

社会福祉法人 柏樹会

1. 法人

(1) 理事会

- ・ 令和1年6月7日（金）

議案

- 第1号議案 平成30年度社会福祉法人柏樹会の事業報告について
- 第2号議案 平成30年度社会福祉法人柏樹会の決算報告及び監査報告について
- 第3号議案 社会福祉法人柏樹会の理事・監事の候補者選定について
- 第4号議案 社会福祉法人柏樹会の令和元年度第1回定時評議員会開催召集日について
- 第5号議案 その他（理事長報告）

- ・ 令和1年6月22日（土）

- 第1号議案 社会福祉法人柏樹会理事長選定の件
- 第2号議案 その他

- ・ 令和2年3月14日（土）

議案

- 第1号議案 令和元年度施設会計補正予算（案）について
- 第2号議案 令和2年度事業計画（案）、並びに拠点区分会計（ケアハウス・特別養護老人ホーム）の各収支予算（案）について
- 第3号議案 社会福祉法人柏樹会の評議員会開催召集日について
- 第4号議案 その他（理事長専決事項報告）

(2) 評議員会

- ・ 令和元年6月22日（土） 第1回評議員会

議案

- 第1号議案 平成30年度社会福祉法人柏樹会の事業報告書について
- 第2号議案 平成30年度社会福祉法人柏樹会収支決算報告及び監査報告について
- 第3号議案 社会福祉法人柏樹会理事・監事の選任について

- ・ 令和2年3月22日（日）

議案

- 第1号議案 令和1年度施設会計補正予算（案）について
- 第2号議案 令和2年度事業計画（案）、並びに拠点区分会計（ケアハウス・特別養護老人ホーム）の各収支予算（案）について

(3) 監事会

- ・ 令和1年6月1日（土）

議事

- 平成30年度社会福祉法人柏樹会の事業報告、決算報告、決算附属明細書及び財産目録についての監査

2. 施設運営報告

(1) ケアハウス部門

入居者の平均年齢も約87.5歳と超高齢となり、介護利用型施設としての役割が増えてきました。入居者が介護保険のサービスを利用しながら生活をする機会が増え入居者の相談業務が今年も重要な業務となった。ケアハウスでは、利用者が気持ちよく共同生活を営むために、利用者間のトラブル等を未然に防ぎ、解決することも重要な任務である。ボランティア活動として、音楽療法士による音楽活動、カラオケ愛好会のカラオケ、銭太鼓、中学生の体験等が開催される。秋祭や運動会の行事も利用者の楽しみの行事として定着した感がある。

今年度は世界的に流行している新型コロナウイルス対応が最大の難問となる。手探りの状態で出来る限りの予防措置を実施している現状である。

給食部門については、バイキング料理が大変好評であった。また、行事食も喜ばれた。ケアハウスの場合は70歳台から90歳台まで利用者の年齢差が大きいので、その年齢に合った食事の提供が大変であると共に重要である。

毎年のことであるが、入居者の確保に対しても課題が残る1年間であった。

(2) 通所介護部門

利用者の通所介護計画に基づいたサービスの提供をきめ細かに行なう。次月の予定月間サービス予定表を全員に配布した結果が大変好評であった。

これからの課題としては、利用者の要望に対応できる事業所となることが重要であり、生き残れる道である。

(3) 介護老人福祉施設部門

入居者の重度化に伴い、利用者個々に対する個別援助が職員全員に求められるようになり、より専門的な介護技術及び知識が必要になってきた。そのために施設内研修や勉強会の開催に努めた。介護職員処遇改善加算金を得ていることを介護職員に認識させスキルアップに努めた。介護事故防止対策を重点的に行なってきた。

日常業務については、入居者個々の日常生活状況に合わせた介護を行なえるよう努力した。月例職員会議に於いて職員が個別の対応を協議するよう努める。

各委員会が自分たちの活動について積極的に討議するようになった。その結果として少しずつではあるが入居者個々への対応が確実にレベルアップしている。

看護業務については、嘱託医及び協力病院の医師との連携をとりながらきめ細かな看護を行い健康管理に努力する。病院から直接入居する利用者も増えてきたので看護業務も大変になってきました。今年度も感染症に対する勉強会を重点的に行なった。

今年度は世界的に流行している新型コロナウイルス対応が最大の難問となる。手探りの状態で出来る限りの予防措置を実施している現状である。

食事部門についても、個々の摂取量や健康状態を見ながら調理を行い、看護・介護部門と連携を強化しながら献立作成を行なった。また、常食、キザミ食等利用者の摂取能力に合わせた調理方法をとるため調理が大変になってきた。バイキング料理や行事食が利用者に喜ばれた。

入所基準が要介護3以上となったため、入居してもすぐに病院に入院する利用者が多

くなってきてしまった。入居者の確保と空きベッドの活用がこれからの課題として残る。

(4) 居宅介護支援センター部門

利用者に満足していただける介護計画を作成するために、利用者及び家族とサービス提供事業者との打ち合わせに時間を費やす。また、サービス提供者会議の開催も増えたので時間的余裕がないのが難点である。

ケアプラン作成については、利用者の身体状態の変化に応じた介護計画を作成するために、医師や利用者の家族等との連携を強化しながら行なった。

(5) 在宅介護支援センター部門

本庄市からの委託事業として行なう。地域包括支援センターと連携を取りながら要介護高齢者等の家族、在宅介護相談協力員、介護支援専門員等からの相談を受けた場合に総合的に相談業務を行なう。

(6) 訪問介護部門

介護保険の訪問介護事業として、要支援・要介護者にヘルパー派遣業務を行なった。利用者の利用時間帯が重なりやすく、職員の配置の問題が請じる。利用者の人数が限られているため、増員も出来ない。今年も地域柄利用者の確保が大変である。

(7) 地域包括支援センター部門

本庄市からの委託業務として本庄南地域包括支援センター業務を行う。担当区域の高齢者に対する、総合相談支援、権利擁護、介護予防、介護予防・日常生活総合支援、包括的・継続的ケアマネジメント支援事業を本庄市と連携を取りながら業務を遂行した。

生活支援コーディネーター事業も始まり、市や関連機関と連携を取り合いながら事業を行った。

(8) 生活困窮者に対する相談支援事業

地域の生活困窮者に対して、社会福祉協議会と連携を取り合いながら行なった。社会福祉法人の使命の業務の為これから充実しなければならない。

3. 実施業務及び施設行事について

(1) 本部組織

- ・理事会の開催 年3回
- ・監査会の開催 年1回
- ・評議員会の開催 年2回
- ・職員健康診断 年2回(夜勤者) 年1回(日勤のみ職員)
- ・ケアハウスサービスの提供に要する費用補助金申請
- ・委託業務に対する委託料請求

(2) 定期検査

- ・消防用設備(特殊消防用設備等)定期検査
- ・建築物・建築設備・エレベーター設備等定期検査
- ・水質等定期検査
- ・浄化槽設備定期検査
- ・電気設備定期検査

- ・レジオネラ菌定期検査
- ・職員定期健康診断
- ・入居者定期健康診断

(3) 施設・事業所の行事

月	ケアハウス	デイサービス	特別養護老人ホーム
4	誕生日会 桜見物 音楽療法	誕生日会 桜見物 音楽療法	誕生日会 桜見物 ホーム喫茶
5	誕生日会 菖蒲湯	誕生日会 菖蒲湯 園芸 青空おやつ	誕生日会 藤の花見 ホーム喫茶 音楽療法 入居者健康診断
6	誕生日会 音楽療法 バイキング料理	誕生日会 音楽療法 ミニ運動会	誕生日会 フルーツバイキング ホーム喫茶
7	誕生日会 七夕 職員健康診断	誕生日会 七夕 デザートバイキング 職員健康診断	誕生日会 七夕祭り 音楽療法 職員健康診断
8	誕生日会 音楽療法 キッズチアダンス マジックショー	誕生日会 音楽療法 ミニ納涼祭 キッズチアダンス マジックショー	誕生日会 ホーム喫茶 キッズチアダンス マジックショー
9	誕生日会 敬老会 十五夜 消防訓練 中学生一日体験事業	誕生日会 敬老会 十五夜 消防訓練 中学生一日体験事業	誕生日会 敬老会 十五夜 消防訓練 音楽療法 家族懇談会

1 0	誕生日会 入居者健康診断 十三夜 音楽療法 秋祭り	誕生日会 コスモス見学 十三夜 音楽療法 秋祭り	誕生日会 十三夜 秋祭り
1 1	誕生日会 運動会 バイキング料理 銭太鼓 エーザイ豊友会	誕生日会 運動会 バイキング料理 銭太鼓 エーザイ豊友会 歯科医師会口腔ケア実施	誕生日会 運動会 バイキング料理 銭太鼓鑑賞 中学生体験学習 音楽療法 エーザイ豊友会
1 2	誕生日会 クリスマス会 柚子湯 音楽療法 職員健康診断	誕生日会 クリスマス会 柚子湯 音楽療法 秀麗会舞踏	誕生日会 クリスマス会 餅つき大会 柚子湯 職員健康診断
1	新年会 誕生日会	新年会 書初め 誕生日会 カルタ大会	新年会 書初め 初詣 誕生日会 音楽療法
2	節分 誕生日会 音楽療法	節分 誕生日会 紅白歌合戦 音楽療法	節分 誕生日会
3	誕生日会 ひな祭り	誕生日会 ひな祭り	誕生日会 ひな祭り

4. 施設の入居者状況等

(1) ケアハウス (シャローム)

(ア) 入居者数 (利用人員は各月初日)

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人員	47	47	48	47	46	46	46	46	47	45	45	45	555
述べ人数	1410	1430	1426	1430	1426	1435	1426	1388	1433	1395	1305	1417	16921

(イ) 年齢別人数 (令和2年3月31日現在)

年齢	60～ 64	65～ 69	70～ 74	75～ 79	80～ 84	85～ 89	90 以上	合計
男	0	0	0	2	2	6	4	14
女	0	0	0	2	6	10	14	32

(ウ) 要介護度別人数 (令和2年3月31日現在)

要介護度	自立	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	2	1	1	8	2	0	0	0	14
女	5	6	5	12	2	2	0	0	32

(エ) 平均在所期間及び平均年齢 (令和2年3月31日現在)

在所期間 5年5ヵ月
平均年齢 87.5歳

(2) 介護老人福祉施設 (シャローム)

(ア) 入居者数 (各月末日人員)

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人員	71	68	68	72	75	72	74	75	73	71	71	74	864
延べ人員	1837	1925	1898	2013	2136	2013	2077	2048	2174	2082	1902	2078	24183

(イ) 年齢別人数 (令和2年3月31日現在)

年齢	60～ 65	66～ 70	71～ 75	76～ 80	81～ 90	91～	合計
男	2	2	2	5	7	1	19
女	0	0	1	7	24	23	55

(ウ) 要介護度別人数

(令和2年3月31日現在)

要介護度	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	合計
男	1	2	5	11	0	19
女	1	8	14	28	4	55
合計	2	10	19	39	4	74
年間延べ人数	918	2895	7076	10978	2316	24183

(エ) 平均在所期間、平均年齢及び平均介護度

(令和2年3月31日現在)

平均年齢 85.6歳

在所期間 2年1ヶ月

平均介護度 要介護3.4

(3) 短期入所生活介護・介護予防短期入所生活介護(シャローム)

(ア) 利用者数

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人員	19	18	14	15	11	10	11	12	15	14	18	18	175
延べ人員	291	308	244	164	143	160	179	184	195	207	267	243	2585

(イ) 要介護別人員

要介護度	要支援1	要支援2	要介護1	要介護2	要介護3	要介護4	要介護5	計
利用人員	2	1	47	51	32	42	0	175
延利用人員	8	4	443	692	564	874	0	2585

5. 在宅サービス利用状況

(1) 通所介護・介護予防通所介護(シャロームデイサービスセンター)

(ア) 月別延利用人数

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用人員	768	830	778	790	748	710	740	768	705	694	711	741	8983

(イ) 要介護度別延利用人数

要介護度	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
利用人数	4	8	14	60	24	8	7	1	128
延利用人員	104	346	910	5060	1388	853	264	58	8983

(2) 訪問介護・介護予防訪問介護（シャロームヘルパーステーション）

(ア) 月別延利用人数

区分（月）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
延利用人員	257	277	235	248	233	233	266	254	237	227	233	272	2972

(イ) 要介護度別延利用人数

要介護度	事業 対象者	要支援 1	要支援 2	要介護 1	要介護 2	要介護 3	要介護 4	要介護 5	合計
延利用人数	23	302	581	1239	532	290	5	0	2972

(3) 居宅介護支援（シャローム居宅介護支援センター）

利用者数

（各月末日人員）

区分（月）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用人員	103	108	99	97	84	77	83	86	87	88	88	85	1085
予防利用人員	18	18	18	19	17	16	16	15	16	16	14	13	196

(4) 地域包括支援センター（本庄南地域包括支援センターシャローム）

(イ) 総合相談支援事業

区分（月）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
相談件数	41	60	41	53	64	59	74	45	51	83	54	46	671
実態把握	19	14	11	20	22	20	22	12	17	28	14	12	211

(ロ) 権利擁護事業

区分（月）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
利用件数	5	3	0	2	1	5	5	0	1	1	2	6	31

(ハ) 介護予防事業

区分（月）	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
オレンジカフェ（人数）	8	13	16	19	8	14	15	14	18	15	12	中止	152
養成講座							1	1			2		4
介護者教室											1		1
出前講座		1					1	2			2		6
個別相談会	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	12

(二) 介護予防支援・日常生活総合支援事業

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
介護予防支援利用者	36	37	33	30	28	26	25	25	26	23	23	23	335
介護予防ケアマネジメント利用者	46	42	41	44	43	41	40	38	39	40	37	37	488

(ホ) 包括的・継続的ケアマネジメント支援事業

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
包括的継続的支援(件数)	2	11	9	7	9	4	3	10	1	1	7	3	67
地域ケア個別会議(回数)	2	2	2	2	2	3	2	2	2	1	中止	中止	20
本庄ケアマネ研修会(人数)			47						40				87
南圏域ネットワーク会議				1			1	1			1		4

(五) 生活支援コーディネーター事業

区分(月)	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
協議体開催		1	1	1		1	1	1	1		2		9
資源把握	2	2	4	3	5	2	2	4	6	6	7		

(六) 生活困窮者支援事業

令和1年度のセーフティネット支援件数 26件
 支援人数 6人

(内 訳)

食材購入 11件
 光熱水費 7件
 交通費(ガソリン代) 5件
 その他 3件

